

議事の経過

発言者	議題・発言内容・決定事項
事務局	報告① 利用者モニタリング調査の結果について
議長	報告①について意見、質問はあるか。
A委員	2ページの『6.集計結果』について、回答数が574件あるが、その意見のほとんどが高齢者の方のものである。今の時代にWeb回答25件は桁が足りない。もっと若い方の意見を反映させることでバランスが取れると思う。例えば、市内の小中高等学校等と連携して生徒へアンケートを実施すれば一気に回収することが可能なのではないか。若い方に対する施策を考えないと、図書館で良い取り組みをしてもアンケート結果として、毎回同じ傾向となってしまうのではないか。
B委員	本館134件、駅前が183件である。なぜ本館より駅前の方が多い結果になったのか、図書館としてどう捉えているのか？駅前分館で何か不満を抱えていることからこのような集計結果に表れたのか？
事務局	駅前分館についてはスタッフ側から積極的に利用者に働きかけていたことが結果に反映された。
C委員	6ページ『4.主に利用する図書館』では本館257件、駅前222件となっており、こちらもアンケートの回収率に影響していると考え。現在、子供に携わる団体の代表をしているが、「駅前の方が入りやすい。きれいだ。図書館らしい。」という声を聞く。 また、「Wi-Fiをもう少し強くしてほしい」という利用者の意見があるが、図書館内でWi-Fiが弱いところはあるか？
事務局	当初、集会室にはWi-Fiアンテナが設置されておらず、開架部分に設置したアンテナを頼りにしていたが、それでは電波が弱いという指摘があり、翌年追加設置をすることで解消したという経緯がある。
議長	本議題については、以上でいいか。 (異論なし)
事務局	報告② 令和5年度上尾市図書館事業報告について
議長	報告②について意見、質問はあるか。
A委員	要覧24ページ『(5)施設別利用状況』の「来館者数」「利用者数」の定義は？ また、20～21『(1)図書館資料等の蔵書状況』の一覧があるが、見開きであるとわかりやすい。
事務局	「来館者数」は純粋に入館した人数、「利用者数」は貸出をした人の数をカウントしている。蔵書のページの割り付けについて現在は修正対応を行っている。
A委員	「利用者数」ではなく「貸出者数」の表記がわかりやすいのではないか。レフ

	<p>アレンスや相互貸借、館内閲覧等、「利用者」という表現には図書館学的にいろいろな意味を含む。</p>
事務局	<p>用語の使い方は埼玉県内で多く使用されている呼び方に倣っているところであるが、何か説明書きを加えるなど工夫していきたい。</p>
B委員	<p>22ページ『(2) 上尾市電子図書館統計』を見ると、利用者数が昨年度より若干減っている。また、電子図書館の実際の電子上の画面を見たときに「オーディオブック」が一番上に掲載されているが、割合の多い順にジャンルを表示させることは出来ないか？児童書は6%も利用があるのに画面のトップに出てこないため見つけにくい。地域資料についてはどのくらいの利用があったのか？郷土資料も同じように最初の画面から地域資料にたどり着くのが大変である。何か工夫はできないか。</p>
事務局	<p>ジャンル表示順については変更が可能と思われる。運用会社に問い合わせ対応する。地域資料の入口は画面上部にしか無いため分かりにくいいため、アクセス方法や資料の内容など様々な媒体で広報していきたい。</p>
事務局	<p>地域資料の利用回数は令和5年度末において27回である。</p>
D委員	<p>24ページ『(5) 施設別利用状況』において、「来館者数」と「利用者数」を比較すると来館者のうち利用者はその半分。報告①アンケート結果の事務局の説明の中で滞在型の傾向にあり、滞在時間が長くなっているとあったが、来館の利用目的が何であるかについて明確にしておくほうが良いと考える。</p>
事務局	<p>数値で示すのは難しいが、館内巡回していると学習席に長時間座って学習、閲覧をしている方が増えたという印象がある。</p>
D委員	<p>新しい図書館構想の話もあり、使用目的に応じて施設のプランニングも変わると思うので、来館者の主な目的を明確にしておいた方がいい。以前の図書館構想は潰れてしまったが、その時の構想と新しい構想の違いを明確にしたいと思っており、そのためにも昨今の利用の仕方について明確にしておいて欲しい。</p>
議長	<p>本議題については、以上でよいか。</p> <p>(異論なし)</p>
事務局	<p>報告③ 令和5年度第3次図書館サービスの進捗状況について</p>
議長	<p>報告③についてはこの後の議題①の中でまとめて意見、質問を受け付ける。</p>
事務局	<p>報告④ 令和6年度上尾市図書館事業概要について</p>
議長	<p>報告④について意見、質問はあるか。</p>
A委員	<p>自己点検評価が上がった項目があり、また下がった項目もあり、ポイント的には同程度なので頑張っていると思う。基本方針1.3「魅力ある特集展示」の目標において展示効果率を掲げていることはとても良い視点だと思う。が、「貸出前の貸出率」ではなく、「展示前の貸出率」ではないか？</p> <p>また、電子図書館サービスの電子書籍の話になるが、市立図書館と県立図書館でどれくらいの頻度で打合せが行われているか？例えば長野県では電子書籍に</p>

	<p>ついて長野県立図書館が市町村を含めて一括で行っている。埼玉県はこのような取り組みを検討しているのか？</p>
事務局	<p>県内の連携としては相互貸借担当が月に 1 回連携会議を行い様々な情報交換をしている。電子書籍については長野県のような取り組みは行っていない。システムも県ごとに違う。</p>
事務局	<p>補足であるが、一部の自治体は電子図書館を共同で行っている自治体もある。上尾市と比較するとコンパクトな市町村であり、少数派である。</p>
E委員	<p>第3次上尾市子どもの読書活動推進計画において、フェイスブックで「読み聞かせのまちあげお」の活動報告をしているが、フォロー数が215人、Xにおいては1,600人くらいである。デジタル、SNSでの発信はしているが情報が届いていないという印象を受けたがどのように考えているか。</p>
事務局	<p>指摘の通り中々フォロワー数が上がらない。フェイスブックについては写真を取り入れるなど工夫しているが、フォローしにくいなどのご意見を聞いている。例えば、学校図書館の展示風景等の写真を提供してもらい掲載するなど、連携を取ることでフォローに繋がると考えている。当初Xの利用者は増えたものの途中から増えなくなったので、双方向のやりとりは難しいがそういう事も考えていきたい。</p>
E委員	<p>上尾市教育委員会では「さくら連絡網（配信メールサービス）」を導入しており、全校の保護者が加入し様々な連絡に活用している。フェイスブックやXは大人を対象としていると思うが、この連絡網を使って保護者の方に興味を持ってもらうことで子どもと一緒に来館のきっかけになると思う。大きなイベントがある際に活用してはいかがか。</p>
事務局	<p>是非、近いうちにやらせて頂きたい。</p>
事務局	<p>報告⑤ 図書館本館更新方針について</p>
議長	<p>報告⑤について意見、質問はあるか。</p>
A委員	<p>「仮本館設置方式」になっていくと思うが、現時点で仮本館が設置できるような施設を候補として挙げているのか、それとも方針が決まってから動き出すのか、可能な限り教えてほしい。</p>
事務局	<p>今月21日の教育委員会議決をもって決定となるが、市場調査は既に始めている。市民の利便を考えると上尾駅や北上尾駅周辺の商業施設、例えば丸広、ショールームプラザ、PAPAが対象と考えている。</p>
議長	<p>本議題については、以上でよいか。</p> <p>(異論無し)</p>
事務局	<p>議題① 第3次上尾市図書館サービス計画の事業計画及び進捗管理について(基本方針I)</p>

議長	基本方針 I について意見、質問はあるか。
E 委員	5年間の計画だと思うが、毎年それぞれ単年で5段階評価をしており、最高4を取った場合には20%になると思うが、最終的に令和7年度の段階で、それぞれの基本方針において何%を達成していれば概ね合格点と考えているか、基準があれば教えてほしい。
事務局	明確な基準はないが、7割～8割程度を目安として達成水準を考えている。基本方針 I～IVは図書館協議会委員の皆さまから頂いた答申を基にしており、100%を目指すのは当然ではあるが、予算などを考慮して履行となると、7～8割、それ以上を保っていくのが理想だと考える。
E 委員	現実には即して進めているということが数値の客観性、信用性を高めていると思う。予約・リクエストの自己点検評価が令和5年度“2”であるが、今後どういった施策を取るのか興味があるし、応援している。
F 委員	予約・リクエストが芳しくなかった。セット本で良くなかったという説明であったが、セット本の予約とはどういうことか？
事務局	上中下、1～10巻などは1冊ずつ予約を受け付けているが、例えば先に下巻を貸すことの無いように上中下が揃った段階で貸出を行えることを目指していたが、システムが上手くいかなかったので今回進めることが出来なかった。
F 委員	上手くいかなかったというのは揃うのを待っていたので中々回らなかったという話か？
事務局	システムの不具合なのか、違う人に結び付くなどのトラブルがあった。
D 委員	システムエラーということであればシステムの解決は出来るのか？出来ないのであれば揃えて借りることは出来ない、順番に借りるしかないという話になると思うが。
事務局	現在はアナログで判断して貸出している。
事務局	スタッフの勘と経験で判断し対応している。 予約しようとする利用者が「セット予約」を選ぶと、セットの全てが揃わないと予約もできず、割り当ての連絡も来ないという状態になるようなシステム構築を考えているが、検証段階でうまくいかず、現在検証を続けている。今のところは利用者に不便をかけていないが、今後システムを使う場合、アナログで行う場合とどちらが良いかを検証している段階である。
A 委員	公共図書館においてセット本のシステム対応はどこの図書館でも行うノーマルな方法なのか？上尾市だけが頑張っているのか？
事務局	さいたま市の他、いくつかの図書館でセット本の予約を行うかどうか選択が出来るようになっている。
D 委員	他市でやっているなら勉強してほしい。やる以上は他市で出来ているかどうか確かめてから導入すべき。セット本が無ければ頭から借りていくことでシステム上解決する。高度な市民サービスは結構だが、トラブルが起これば、その解決が出来ないのであればやらざるべきではない。そういう点を考えてほしい。今後、仮本館として図書館運営していくのなら、スペース的にもシステム上も色々な意味

	で能力をオーバーしていく部分の要求は出てくるはずなので、今抱えているトラブルは早期に整理していくべき。
事務局	今後さらに検証して判断していく。
議長	他に意見無いか。 (意見なし)
事務局	議題① 第3次上尾市図書館サービス計画の事業計画及び進捗管理について (基本方針Ⅱ)
議長	基本方針Ⅱについて意見、質問はあるか。 (意見なし)
事務局	議題① 第3次上尾市図書館サービス計画の事業計画及び進捗管理について (基本方針Ⅲ)
議長	基本方針Ⅲについて意見、質問はあるか。
F委員	『3.4 子供の読書活動支援』と『3.8 ボランティア活動支援』は、どのような点において達成が出来なかったと評価したのか？
事務局	『子供の読書活動支援』については、乳幼児向けボランティア養成講座は実施したが、「おやこでえほんサロン」紹介本リストについては配布を目標としたが、配布できなかったことで達成度を1つ減点した。 『ボランティア活動支援』については、あげ TUBE にボランティアの活動を掲載することを目標としていたが、ボランティア団体からの動画の掲載についての賛同を頂けなかったため達成に至らず1つ減点した。
議長	他に意見無いか。 (意見なし)
事務局	議題① 第3次上尾市図書館サービス計画の事業計画及び進捗管理について (基本方針Ⅳ)
議長	基本方針Ⅳについて意見、質問はあるか。
A委員	『4.2 運営』の(2) 図書館システムの更改について、令和5年度の分析では継続使用とあり、令和6年度の目標には年度末までに更改を決めた仕様書を作成するとしている。これは令和6年度は現行システムを継続使用し、再来年度に向けて更改するという認識で良いか？
事務局	令和5年度については引き続き同じシステムを使用し、来年度(令和7年度)更改に向けた取り組みを考えている。
E委員	『4.2 運営』(1) ICT の活用としてデジタルサイネージの導入により来館者数を増やせることができたのか？図書館以外の例えば、市役所本庁舎やイオンモールに設置のサイネージにおいて図書館の情報を流す取り組みは行っているか？

事務局	<p>図書館まつりや図書館で行う講座など広く周知したいと考えるものについては上尾駅自由通路に設置のサイネージ等を活用している。</p>
C委員	<p>Windows10 のサポート終了まであと 1 年だが、間に合うのか？ 職員の PC は既に変更しているのか？ システムの変更に合わせてやり直さないといけないと思う。</p> <p>デジタルサイネージの情報を図書館ホームページにも掲載できるようサポート会社に依頼してもいいと思う。</p>
D委員	<p>仮本館設置の計画があるが、須賀委員の問題提起はそのまま繋がってくる。サイネージの問題については公民館も、協議会や審議会で PR の方法を考えられている。ホームページを活用することで情報が繋がる。システム上 Windows10 を使っているのは結構遅い。世の中が変わる中で旧態依然の発想では難しい。思い切った目標立てが大事。</p> <p>また、目標が設定されて無いのに目標達成度を表示するのは間違い。具体的な目標のどこまで進んでいたのか測るのが達成度である。6割～7割出来たから100%に近い達成だと言うとそれが「達成」となり、そういう目標を立てないといけない。そうすると非常にハードルが低くなり、もう少し知恵の働く施策も出てくると思う。身の丈に合わない目標は立てないという方法も一つだと思う。</p>
事務局	<p>達成水準に関して、定性的な評価から定量的な評価に変えたのは第3次の計画が初めてである。今後、第4次が目前に迫っているが、頂いた助言を次回のサービス計画に生かしていきたいと思う。</p>
議長	<p>他に意見無いか。</p> <p>(意見なし)</p>
議長	<p>では以上の審議を基に意見をまとめ、第3次図書館サービス計画の全てを含めて総合評価・第三者評価として議長に一任するがよいか。</p> <p>(異議なし)</p> <p style="text-align: right;">以上</p>